

ダブルヒット!



★SLJ初挑戦の板倉さんもハワフルな引きのサンバク(ワラサとイナダの中間サイズ)を釣り上げる



★スピーディーなワンピッチジャークで宙層を狙いイナダを釣り上げた



▲着底と同時にジグを食ってきた



◀ボトム付近をネチネチ探ってマハタをキャッチ

★マダイがヒットし、SLJロッドが弧を描く

◀ジグをフワフワさせて誘い、ただ巻きで食わせた

たーのーこー
かーん
かーん
かーん

ヨッシーこと吉岡進がエサ、ルアー釣りを問わず様ざまな釣り物にガチでチャレンジしていく連載「ツリガチ!」。第8回は外房大原のスーパーライトジギング(以下SLJ)。
30〜80グラムの軽いジグとライトなタックルを使い、好きに巻いたり、シヤクったりして自由に楽しむことができるので、近年は女性や子供にも人気。SLJは、そのときその場所ので釣れるすべての魚がターゲットで、何が食ってくるのか分からないところが魅力。ライトだからといって小物ばかりではなく、10キロオーバーのヒラマサなど大物がヒットする可能性だって十分あるのだ。

#吉岡進の新世界沖釣り紀行vol.08

ツリガチ!

外房大原 冬のSLJ

Super Light Jigging

撮影/文◎本誌編集部

▶当日の釣り場は太東沖の水深25〜40メートル前後。片舷に並んでドテラ流しで広く探る



今日はマハタを釣りたいね



▼リフト&フォールで底付近を誘いヒラメをゲット

★マハタを釣り上げることを目標に掲げてバンプスジグTG SLJをセットする

Profile ◆よしおか すすむ
1982年生まれ。ヨッシーの愛称で親しまれている。一つテンヤマダイ、ライト系オフショールアーを得意とする。ジャッカルソルトプロスタッフ、シーガーインストラクター。



◆本編(62ページより)は高橋剛が執筆。沖釣りの楽しさをヨッシーとともにお伝えします!





タイラバでも釣れる!!

●広布号のSLJ乗合はタイラバもOK。SLJと同じ道糸はPE1.2号を推奨

★小林久美さんはタイラバの速巻きで誘い、マハタ、マダイ、ウツカリカサゴをキャッチ



▲▲タイラバのように落として巻くだけで色々な魚が釣れるジャッカルの新アイテム「TGピンピンスイッチ」を試すと良型のイラが食った



ウツカリカサゴ

SLJの釣り方イメージ

●基本は底付近をスローワンピッチジャークで誘い、根魚やヒラメなど狙う。アタリがなければ宙層を1秒間にハンドル1回転のワンピッチジャークで青物を狙う。マダイはジグをフワフワさせてアピールしてからただ巻きするのが有効。フォールでアタることもあるのでサミングして糸フケをなるべく出さないようにする。



◀船下でアタリがなければアンダーハンドキャストでジグを遠投して広く探る

ただ巻き

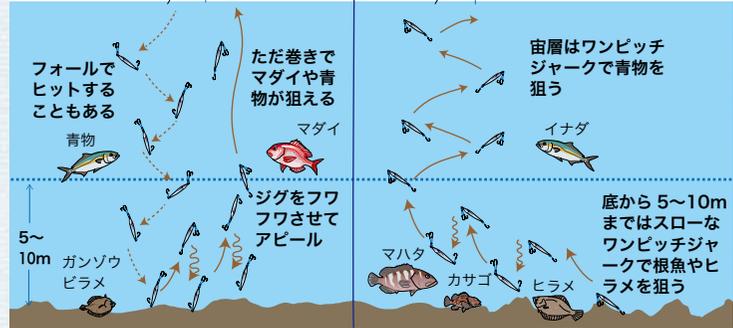


ジグが受ける抵抗が一定になるように巻くのがコツ

ワンピッチジャーク



1シャクリでハンドル1回転



#船宿インフォメーション

外房大原港 広布号

☎070-3526-1091
(詳細は巻末の情報欄参照)

- 料金=スーパーライトジギング予約乗合 一人1万1000円(氷付き)
- 備考=午前船5時半、午後船11時半 集合、集まり次第出船



▲フロントはフラットデッキで釣りやすい。船内には予備のタックルを収納できるロッドホルダーがたくさん設置されている
◀野島 幸一船長(右)



チカメキントキ

◀ジグにブレードを付けてアピールさせたのが効いた



▲水深35メートルのポイントを流すと、船中のあちこちでガンゾウピラメがヒット



◀着底後の巻き始めに良型カサゴがゴン!

◀60グラムのタングステンジグをただ巻いて釣り上げたマダイ

めっちゃ
くちや
楽しい



★青物がヒットし道糸がほとんど引き出される



◀立派なマハタ。底から5メートル以内をていねいに探ってヒット

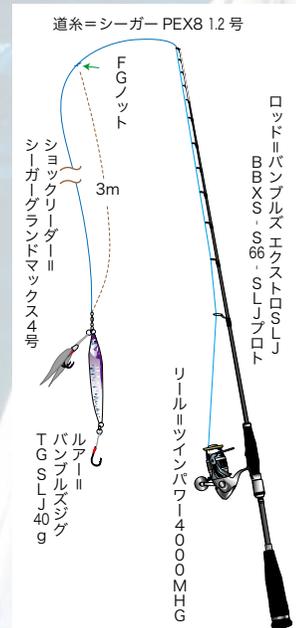


◀オリジナルの広布号ジグも大活躍。受付時に購入できる

▶1シャクリ、ハンドル4分の1回転でゆっくり誘い、底上3メートルで食ったマハタ

SLJタックル

●大型のヒラマサがヒットすることもあるので、広布号では道糸はPE1.2号を推奨している



▲当日は流れも緩く、狙う水深も比較的浅いため、ヨッシーはパンブルズジグTG SLJの40グラムをチョイス

12月中旬に釣行したのは外房大原港の広布号。野島幸一船長が向かった釣り場は大東沖の水深25〜40メートル前後。この海域で釣れるのはマハタ、カサゴ、チカメキントキなどの根魚やヒラマサ、イナダ、ワラサ、カンパチなどの青物、ほかにマダイ、ヒラメ、ガンゾウピラメなど様々。ポイントに到着し、「パンブルズジグTG SLJ」40グラムをただ巻く。これを皮切りに色々な魚が釣れ上がる。今回は、専用ロッドとジグを使い、冬の外房でSLJを堪能したヨッシー。詳しくは62ページからの本編にて。



◀当日はただ巻きに反応がよかった